

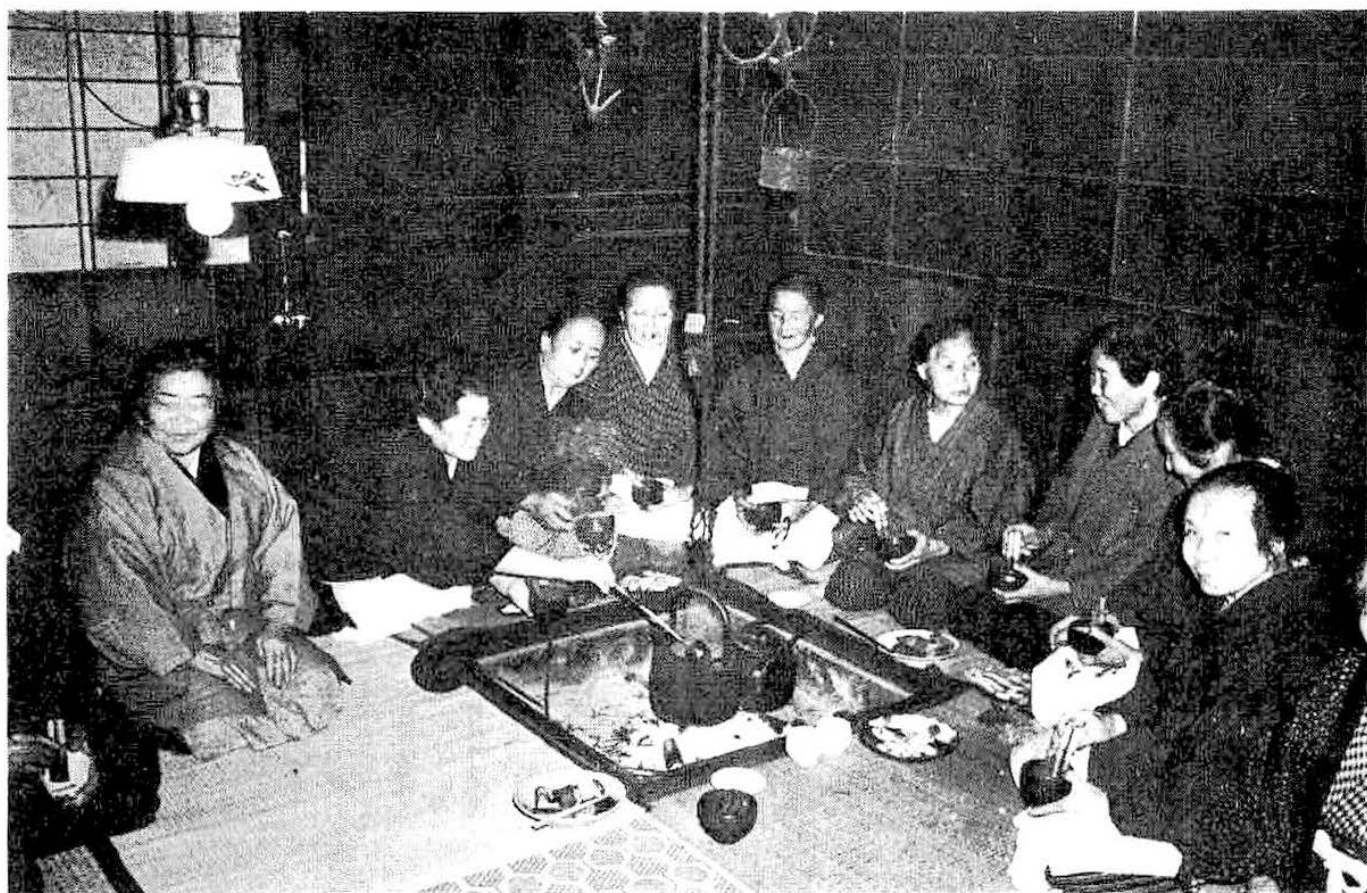
広報



あさひ

No. 244

昭和50年
12月10日発行



朝日町風土記

遠い祖先の心を伝える
習俗風俗

バタバタ茶

● 蛭谷地区 ●

「茶のみにいざい」……五郎八茶碗、手作りの茶筌を各自ふところにバタバタ茶をよばれにゆく、蛭谷地区に残る珍しい、風習である。

「バタバタ茶」の歴史は古く、もとは朝日町全域で行われていたものである。

お茶の最下等品を独特な醗酵方法で作った黒つぶい黒茶とよばれる番茶を福井県から買求め、それをいろりの茶釜で沸かし、五郎八茶碗に入れて塩を少々まぜ茶筌で文字におろし、バタバタと数十回動かすと、アツが立ったお茶がたつ。

部落の人々はこれを仕事前にのまないといふ力が出ないといふか言い、またこれをのむとおなかがすき食欲が出るという。

あそここの水がうまい、あの人の作った茶筌が茶がよくたつ、だれそれのたてた茶がうまい……そこにはお家流の茶道とはちがったフビの茶の世界がある。

毎月二十八日は御開山上人の命日のお講が班毎に集まってくる。一日は八日御命日なれば、みなもゆるりとお茶のむまいか、御開山の命日にも親類、近所の命日にもおつとめの後にはきまつて山の珍味や自慢の漬物をつまみにしてバタバタ茶がたられる。

今月のおもな記事

- ・ 昭和49年度決算のあらまし
- ・ 朝日町議会臨時会開く
- ・ 受彰の栄に輝く方々
- ・ 社会教育、社会体育
- ・ 体協だより スキー教室参加者募集
- ・ 年末年始の交通安全運動
- ・ 工業統計調査に協力を
- ・ 道路除雪に協力を
- ・ 昭和50年度成人者名簿照会
- ・ 郵便局 北電だより
- ・ 石油ストップ使用に注意
- ・ 年末警戒の実施
- ・ 農地の小作料について
- ・ 歳末たすけあい運動に協力を
- ・ お子さまを保育所に入れた方は
- ・ 国鉄泊駅だより

昭和49年度決算 総需要の抑制を基調に 住民福祉の施策を推進

昭和四十九年度の決算規模は、一般会計と特別会計(企業会計を除く)を合算して歳入総額二十億八千七百二十万円、歳出総額二十億一千六百六十六万四千円、これを昭和四十八年度と比較しますと、歳入総額では三億三千四百四十万円、一九・〇%増、歳出総額では三億三千九百五十一万円、二・〇%増となりました。以下会計別に、そのあらましをお知らせします。

一般会計

(1) 決算規模

昭和四十九年度の一般会計決算は、歳入一億七億二千三百万円、歳出一億六億五千四百十八万円であり、これを前年度と比較しますと、歳入二億二千七十九万円一五%増、歳出二億三千六百三十八万円一七%の増加となります。

(2) 収支の状況

歳入から歳出を差し引いた収支は四千六百五十万円の余剰を生じており、これから繰越明許費の翌年度へ繰越すべき財源三百七十一万円を差し引いた実質収支は四千二百三十三万円の黒字となり、健全財政を堅持することができました。

(3) 歳入

歳入決算を款別にみますと最も

- ・都市計画事業費一、六〇〇万円
- ・保育所措置費七、四八二万円
- ・文化財遺跡用地買収費一、四六八万円
- ・農業構造改善事業費一四、一三九万円
- ・高令者医療給付費五、二二六万円
- ・林道開設改良事業費二、〇四八万円
- ・山村振興事業費四七八万円

(4) 歳出

昭和四十九年度決算を目的別にみた経費で、大きな比率をしめていたのは、民生費、農林水産業費、教育費及び土木費で、この四つの経費で全体の約六六%をしめております。

次に、性質別に分類すると義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分され、その比率も義務的経費四五%、投資的経費三五%となっております。

歳出の主なものを列挙しますと

- ・農業用施設災害復旧事業費二、〇六二万円
- ・学校プール新設事業費三八〇万円
- ・農村振興農工一体化事業費五九三万円
- ・町税は、三億三千九百六十三万円、二・〇%の増で歳入の二・〇%にあたり、これを住民一人当りにしますと、一万七千三百六十七円となり、住民一人当りの行政経費八万四千五百九十一円の二・〇%に相当します。町税の収納率も町民税九九・七%、固定資産税九九・七%と高率をしめております。
- このほかに、保育料四千四百六十三万円、造林事業、林道事業や農道事業などにあてた分担金五千四百七十五万円、保育所増築事業、道路整備事業や学校プール新設事業などにあてたため借り入れた町債五千二百三十三万円などがあり、歳入総額一億七億二千三百万円になります。
- ・農業用施設災害復旧事業費二、〇〇七万円
- ・保育所増築事業費二、四五七万円
- ・農業構造改善事業費一五、三七一万円
- ・林道開設事業費三、四四二万円
- ・山村振興事業費八五五万円
- ・都市計画事業費二、八三四万円
- ・道路特別改良事業費一、二六三万円
- ・道路新設改良事業費五、六四三万円
- ・学校プール建設事業費一、五六八万円
- ・文化財遺跡保存用地買収費一、七七三万円
- ・ごみ収集車購入事業費五〇〇万円
- ・消防自動車購入事業費七八九万円
- ・県立自然公園整備事業費八三九万円
- ・農業用施設災害復旧事業費二、九四七万円
- ・新川広域圏事業負担金三、〇四五万円

特別会計

企業会計

病院会計は歳入決算七億六千七百九十六万円、歳出決算七億五千二百四十万円、差し引き一千五百五十六万円の黒字となりましたが、過去の不良債務を解消するための病院特別債一千六百四十万円を差し引きしますと八十四万円の赤字になりました。

病院事業は、医師の確保や医療機械の充実、病院特例債の導入などによって経営内容もやや安定の傾向がみられますが、病院経営上の諸問題は、全国公立病院の共通課題であり、能率的な経営について、鋭意努力していかねばなりません。

第七回

朝日町議会臨時会

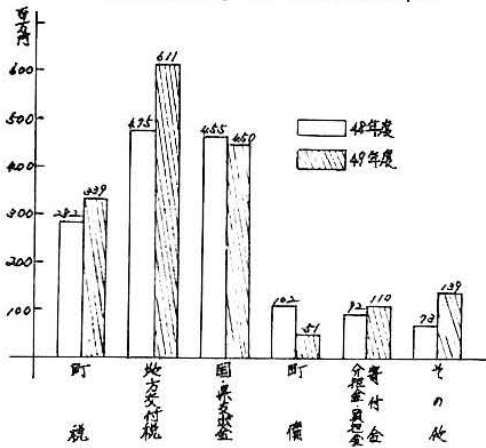
昭和五十年第七回朝日町議会臨時会は、十月二十八日会期を一日として開会され、工事請負契約の件について審議の結果、原案のとおり同意されました。

工事請負契約の件

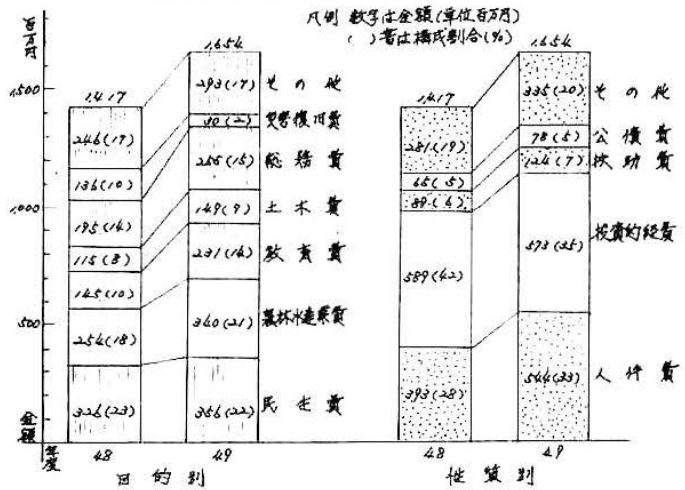
朝日町民総合グラウンド新設工事団体営林道棚山線開設事業

現をめざして積極的に推進しました。このように「朝日町総合計画基本構想」に基づいて、社会福祉の充実、教育環境の確立、町民生活の安定などの施策等を遂行し、住民と行政とを直結することに努めました。

◎ 昭和49年度一般会計歳入決算額



◎ 目的別・性質別歳出決算額



◎ 決算額の住民1人当り額

区分	決算額	住民1人当り
町税	33,963	1,736.7
地方交付税	1,057	54.0
自動車取得税	2,056	105.1
地方交付税	61,166	3,127.8
交通支交付金	86	4.3
分担金・出資金	9,974	510.0
使用料及手数料	1,766	90.3
国庫支出金	18,501	997.2
県支出金	25,863	1,322.5
町産収入	139	8.1
寄附金	1,057	54.0
繰入金	494	25.2
繰越金	6,164	315.2
繰入金	1,594	81.5
町債	5,123	261.9
合計	110,023	86,946

区分	決算額	住民1人当り
一般会費	3,227	165.0
統務費	25,568	1,307.4
民生費	35,620	1,821.5
衛生費	8,318	425.3
福祉費	2,217	113.3
農林水産業費	34,027	1,740.0
商工費	2,142	109.5
土木費	14,874	761.6
消防費	4,971	256.2
教育費	23,131	1,182.8
災害復旧費	2,983	152.5
公債費	7,893	403.6
諸支出金	427	21.8
合計	163,468	84,591

▼ 特別会計

会計区分	収入	支出	繰越金
国民健康保険	26,318	22,256	2,112
下水道	2,006	2,656	352
簡易水道	1,158	1,127	31
国庫	214	211	3

受彰の栄に輝く方々

重なる表彰の栄

九里道守氏

(宮崎)



去る十一月十二日から三日間にわたって滋賀県大津市において全国公民館大会が開かれましたが、この席上において、宮崎公民館長九里道守氏が、二十数年にわたって公民館活動に従事され、地区住民に対する社会教育の振興に尽くされた功績により、全国表彰の栄に浴されました。

また、同氏は、宮崎自然博物館長として、十五年の長きにわたって、国指定天然記念物鹿島樹叢の保護や宮崎自然博物館の創設に尽くされ、県下における博物館の創設期に学芸員として努力された功績により、去る十月二十七日、東京国立博物館において開かれた第二十三回全国博物館大会で表彰を受けられました。

イスカウト活動を通じて青少年の健全育成に寄与された功績によるものです。

富山県

公民館大会受彰者

第二十五回富山県公民館大会が、去る十一月二十七日、富山県教育文化会館において開かれましたが、この席上において、多年にわたり地区の公民館長または主事として、公民館活動を通じて社会教育の振興に努力された左記の方々に対し、それぞれ表彰状、感謝状が贈られました。

表彰状(五年勤続)

泊公民館長 在田祐芳

感謝状(十年勤続)

五箇庄公民館長 西田彦衛

境公民館主事 兵庫俊春

笹川公民館主事 小塚芳純

南保公民館長 米丘正雄

野中公民館主事 川瀬茂

下新川郡

公民館大会受彰者

去る十二月三日、入善町中央公民館において、第二十四回下新川郡公民館大会が開かれましたが、この席上において地区社会教育の振興に努力された功績により左の二氏が表彰されました。

笹川公民館長 折谷隆一

中央公民館主事 岡部善治

社会教育功勞受彰 村口隆造氏

十一月九日に行われた富山県社会教育大会の席上、村口隆造さん(本町、ボーイスカウト朝日第一団委員長)が社会教育功勞者として、富山県社会教育振興協議会から表彰を受けられました。

これは、氏が長年にわたり、ボー

社会教育

境地区に

公民講座開設

朝日町教育委員会では、生涯教育の一環として管内の特定地区公民館を中心として、明るい豊かな住みよい環境づくりを目ざして、公民講座の開設を計画しておりましたが、去る十月二十日から境地区において第一回講座を開きました。

受講生たちは、かつて藩政時代、わが国屈指の関所の所在地として栄えた地区の古い歴史の中から、また近年急激な変貌を遂げた地域環境の中からも、新しい生き方を知ろうと、熱心な学習が進められております。なお、境地区においては現在住民の熱意によって地区公民館の建設が進められ、本年末に竣工の運びとなっております。

社会体育

富山県野球連盟

表彰の栄

三太クラブ

町内野球チームの名門「三太クラブ」は、このほど優良クラブとして富山県軟式野球連盟から表彰を受けました。

このクラブは、大正八年に、現会長上沢源次氏が小学校高等科を卒業と同時に同好者を募って結成されたもので、県内でも有数の古い歴史と

伝統をもっており、今回の表彰は長年にわたる野球の普及振興に対する功績が認められたものです。

バドミントンで

体力づくり

■蛭谷婦人スポーツ教室■

体力づくりをめあてとして、南保蛭谷地区婦人を対象としたバドミントンコースが十一月十日に開講され、婦人たちは一日の疲れも忘れ、スポーツの重要性和その楽しさを味わいました。なお、同教室では、今後週二回づつのスポーツ教室を開いて行く予定にしています。

黒菱

スポーツ少年団結成

(笹川)

秋晴れの十一月三日、笹川地区において健康な心身と協力と友情をめあてとした黒菱スポーツ少年団が結成されました。この少年団は、笹川小学校の児童十六名で構成され、昨年から実質的活動を行っており、正式にスポーツ少年団として発足したものです。

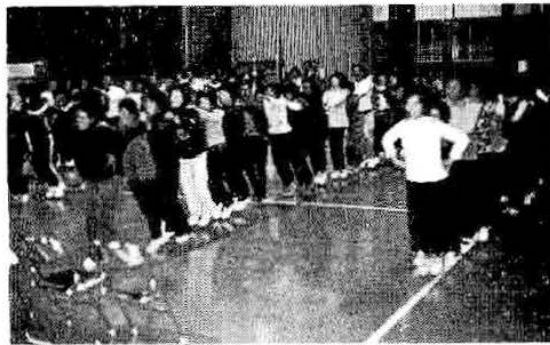
楽しい

レクリエーション

ゲーム講習会開く

いつでもどこでも簡単にできる体

力づくりとしてレクリエーション・ゲーム講習会がこのほど体育センターでスポーツ教室の一環として開催されました。百余名の参加者は富山大学助教授稲垣保彦先生の指導に汗たくなりながら熱心に受講していました。こうしたゲームを家庭でも行うとともに、集会や会議の合い間に取り入れるよう話し合いました。

二級技能士訓練課程
通信講座受講案内

- ◎訓練職種 現在29職種
 - ◎受講資格 実務経験のある者
 - ◎訓練期間 一年
 - ◎受講料 四千元
 - ◎特典 二級技能検定学科試験免除
 - ◎受講申込 いつでも受付けます
- ※お問い合わせ先
魚津総合高等職業訓練校
(TEL魚津22-51-334)

体協だより

いろいろな
スポーツ行事の
お知らせ

第十五回

町民バスケットボール大会

(十月二十六日泊中学校)

△男子の部▽

準決勝 泊二区 47-34 五箇庄

決勝 泊二区 70-22 笹川

決勝 泊二区 61-34 泊一区

△女子の部▽

決勝 大家庄 A 8-6 大家庄 B

第十二回

町民バドミントン大会

(十一月十六日泊中学校)

△団体の部▽

準決勝 大家庄 2-1 笹川

決勝 泊三区 3-0 泊二区

決勝 泊三区 2-1 大家庄

△個人の部▽

準決勝 泊三区 A 2-0 南保

決勝 泊三区 A 2-0 大家庄

△個人の部▽

決勝 泊三区 A 2-0 大家庄

△個人の部▽

決勝 泊三区 A 2-0 大家庄

△個人の部▽

決勝 泊三区 A 2-0 大家庄

△個人の部▽

決勝 泊三区 A 2-0 大家庄

△個人の部▽

決勝 泊三区 A 2-0 大家庄

第二十二回

町民卓球大会

(十一月十六日泊中学校)

△団体の部▽

準決勝 大家庄 3-2 泊三区

決勝 泊二区 3-2 五箇庄

決勝 大家庄 3-2 泊二区

△個人の部▽

決勝 大倉 肇・井口多加子(大)組

②小杉昌幸・広田みな子(泊三・五組)

スキー教室

参加者募集

今年もスキー教室を開講し次の要領で参加者を募集します。

△期日 一月二十四日(土) 一月二十六日(月)

△会場 長野県わらび平スキー場 泊・わらび平山荘

△対象 初心者を中心とする

△受講者 (イ)五十名(申込順) (ロ)朝日町内に居住又は勤務する者

△参加費 一人七、〇〇〇円(交通費を含む)

△申込 所定の申込用紙に必要事項記入のうえ、申込金一、〇〇〇円を添えて申し込む。

△申込 申込金のないものは受付けません。

△申込 申込締切後受講を取り消しても申込金は返還しません。

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

△申込 町教育委員会(電話二一〇四)

年末年始の交通安全運動 十二月十一日～一月十日

交通警察官無用の 朝日町にしよう

飲酒運転の撲滅

いよいよ年の瀬や年始を迎え飲酒の機会が多くなる時期になりまして、

いくら少量でも酒を飲んで運転してはいけません。飲酒運転の危険性については誰でも知っているはずですが、ところがつい周囲の人の誘惑にまけ「では、ほんのちょっぴりだけ」ということで飲んで、あぐくの果てに大きな事故を起こしたという例は非常に多いのです。

法律上も酒気帯び運転や酒類の提供などは禁止されていますし酒酔い運転(正常な運転ができない状態)は重く罰せられます。

ハンドルを握る場合は絶対に飲酒しないと同時に、また自分がハンドルを握らない場合でも運転者には絶対に酒をすすめることは禁止されています。なおこのほか睡眠不足、病

安全速度の厳守

交通事故の原因の多くは「速度の出しすぎ」によって占められています。高速で走行すれば能率はよいかも知れませんが、経済の面から考えても燃料の消費量や車の故障する率は多くなり、加えて運転者の疲労度

が高いなどのことを考えると大きな損失となります。

最高速度は車の性能、安定性、道路の状況等を考慮してきめられたものです。したがってこの最高速度を超えて走行することは自分では大丈夫だと思っ

てもどこかに事故を起こす危険性がひそんでいっているものです。また速度が増せば停止距離も長くなり衝突した場合にはその衝撃も倍加されてきます。

常に道路の交通状況、自分の運転技術、車の性能等に応じた安全な速度で走行することが必要です。夜間とか雨の日とくに冬期間の降雪時には一段と速度をひかえ目にしなければなりません。

また、朝日町においては、学校、保育所や民家の密集地等の付近では必ず速度制限がしてあり、標識が設置してあります。

なお、警察署ではこれらの速度制限のしるしである道路を中心に交通違反の取り締りを強化し無免許、暴走(速度違反等)飲酒運転者等をどしどし検挙しますので、自分自身、家族や友達、住民のため全町民挙げて交通の模範生となり交通取締り警察官無用な朝日町にしようではありませんか。



いよいよ

冬将軍の季節 道路の除雪は みんなの協力で

ことしも雪の季節をむかえ、積雪による道路交通が不安な頃となりました。

道路除雪については、各道路の管理機関がそれぞれ準備を整え、交通の支障を極力少なくするよう努力しています。

そこで、除雪の効果を高めるため、住民のみなさんの積極的なご協力をお願いいたします。

道路除雪のあらまし

○ 実施機関は、国道が建設省黒部国道維持出張所、県道は県入善土

木事務所、町道は町建設課が担当しますが、ほ場整備中の区域の一部町道は土地改良区に依頼して実施します。

○ 除雪実施路線は、各道路の役割りや通行量などの重要度、及び道路構造や機械能力などを検討してコースを選定します。

○ 除雪時期は、積雪状況により適宜行いますが、通勤通学等に備えて早朝除雪を実施します。

協力依頼事項

○ 路上に車や物を放置しないこと。除雪が不完全になるばかりか吹雪の際など判別ができず、除雪車と衝突の危険があります。

○ 除雪車によって路肩(戸口)に堆積した雪は、それぞれ処理をお願いいたします。

○ 機械除雪のできない道路は、近所で協力して除雪しましょう。

○ 除雪車の排雪によって側溝が溢水する恐れのある場所は、町内毎に事前に対策を検討をお願いします。処理困難な場所は町内会長を通じて連絡してください。

○ 路上で除雪車とすれちがう際は飛雪を受けない位置で待避をお願いします。

○ 流雪溝を利用の際の事故を防ぐため投入口のフタを開けた時は赤旗で表示し、作業終了後は直ちにフタをきちんと締めてください。

○ 除雪車によって家屋損傷などの被害があった場合は、すぐに連絡をお願いします。

○ 積雪の多い場合は、除雪速度が遅れ、除雪行程が遅れることがありますので、ご了承をお願いします。

○ 川や流雪溝を利用して流・融雪する場合は、溢水、浸水が生じないように、近所共同して上・下流の関係者と協議のうえ実施してください。



工業統計調査に ご協力を

(イ)「製造業」に属するすべての事業所を対象として
(ロ)毎年12月31日現在で
(ハ)事業所数・従業員数・製造品出荷額・原材料使用額などを調査し
(ニ)工業の実態を明らかにすることを目的としています。

調査にあたっては、調査員が各事業所に伺い調査票の記入をお願いいたしますから、該当調査事項について記入の上、指定された期日までに調査員に提出されるようお願いいたします。

着飾るよりも 昭和50年度 朝日町成人者名簿照会 心に晴着を

この名簿は、昭和50年11月30日現在の住民基本台帳により昭和30年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれた、昭和50年度成人該当者を記載したものです。この名簿に記載もれしている方は12月25日までに教育委員会事務局(TEL②1104)へお知らせください。ご連絡のない場合成人者名簿に記載されないことがありますからご了承ください。

宮崎地区		嘉義 修	嘉義 景一	加藤 基晴	加藤 千鶴子	山口 春仁	佐田 直之	竹谷 稔	館安 稔	田中 明子	松本 政子	水島 伸人	加藤 松子	笹川地区										未上地区																					
		近藤 葉子	殿村 満	北山 美智子	泊一 区	藤井 謙吉	藤沢 正幸	泉 伸生	大平 幸枝	根建 栄子	大村 元子	九里 須賀子	平柳 さゆり	横山 初美	安達 尚子	居波 久恵	小森 千秋	加藤 均	畠山 敏晴	家城 章	氷見 文男	尾山 義憲	長井 雪路	長井 貞一	長井 貞誠	福平 静夫	大野 順子	川村 琴枝	広川 幾美	水島 千代美	水島 保弘	水島 悦美	水島 良成	水島 武弘	水島 五鈴	水島 敏彦	渡辺 秀洋								
		荒尾 美美子	小沢 清	会田 孝子	広川 由紀子	松下 稲子	上杉 てるみ	上杉 高之	小松 真佐美	湊 明美	水島 秀彦	梅沢 知夫	小沢 幸子	犬田 幸修	仙田 三雄	田辺 里美	西尾 雅也	犬田 恵津子	大窪 祥司	岡本 邦広	川上 勝之	寺崎 悦夫	松岡 武	梅沢 正之	梅沢 弥生	能登 則正	花房 伸夫	泊二 区	加賀 登志子	高野 信子	小川 信子	折谷 博子	島端 晃子	橘 美津子	氷見 模子	村口 隆子	大和 純子	渡辺 和子							
		西島 ひとみ	野沢 理哉	越間 勇二	岩田 憲治	岩田 正則	筒井 謙治	藤田 恵津子	飯田 稔	開 宏	藤田 由美	平柳 智雅子	柳沢 智子	水野 正志	大村 勝	大村 鶴平	中島 悦子	大久保 恵子	椿 俊之	小谷 博	野島 成人	伊野 成子	川合 靖子	木村 光則	米田 悠子	米田 彦吉	泊三 区	黒坂 仁	平田 美津子	稲村 克也	小椋 弘子	谷口 智恵美	西岡 正晴	西岡 重幸	平坂 篤子	堀 成子	草田 武邦	谷口 和美	酒井 久志						
		西田 不二子	水野 仁志	水野 優子	追分 正彦	広田 恵子	浜川 治	佐渡 郁代	谷 優子	浜川 朗	広田 法子	浜田 京子	水島 明美	大家庄地区										五箇庄地区																					
		西田 寛	長井 進	河村 朋子	真岩 敏治	広田 恭子	大久保 藤雅											川崎 弥生	対馬 良子	田村 富士子	田中 祝子	佐久間 孝子	佐藤 広子	小林 敦子	川村 シゲ子	川村 シゲ子	住吉 誠	住吉 敏裕	能沢 美恵子	広沢 淑一	森岡 喜代美	森岡 慶次	川瀬 実	沢田 悟	清水 康泉	高田 睦美	松田 尚	藤井 勲	藤田 桂子	廣川 昌子	高島 晴代	石井 敬子	石井 好実	吉田 直美	右井 美智子
山崎地区												下立 弘司	安達 祐一	安達 政昭	久我 口功	川端 堅志	七沢 邦彦	仙名 美穂子	長津 初美	秀永 正美	水野 多香子	蓬沢 茂美	大井 加代子	大井 広美	鹿熊 美和子	中島 紀子	鍋島 信治	道島 照美																	

郵便局だより

年賀状や年末小包の差出しに
ついてのお願い

◆ことしも十二月十五日
から年賀状の受付が始
まります。

◆元日に先方に届くよう
お早目に(十二月二十
日頃まで)お出しくだ
さい。

◆あて名は「はっきり正
確に」

◆せつかくの年賀状や贈
り物を迷子にしないよ
う、肩書き、棟番号、
室番号など忘れずにお
書きください。

◆あて先や差出人住所
には、必ず郵便番号
を「はっきり」とお書
きください。

◆年賀状をお出しのとき
は「泊局区内」、「舟
見局区内」、「富山県
内」、「県外」各あて
などと書いた紙片を上
にしてたばね、郵便局

の窓口にお出しくださ
い。

◆年末小包を年内に配達
するために

「差し出しは十二月
十五日までに」十二月
には、平常の月の約二
・五倍にのぼる小包が
差し出されます。

◆小包の包装は、途中
で破れないようしつか
りと包装するようお願い
いたします。

◆年賀状の配達について
ご協力を

北電だより

一、雪おろしの際には電
線にふれないように。
二、木の枝やテレビのア
ンテナの線などが電線
にふれていませんか。
三、切れた電線には絶対
にさわらないですぐ通
絡して下さい。
四、お正月のたこあげは
電線の近くでしないよ
うにして下さい。



